

社会も学歴も、将来を保障しない時代。それでもたくましく生きていける子供に育てるには？

そのカギが自分の在り方を肯定する心「自己肯定感」にあると注目されています。

自分で“ものづくり”を乗り越えた確かな自信から「自己肯定感」を育み、自分らしく心豊かに生きる力がつく教室が、つくばに開講しました。

お問合せ・詳細情報



詳細情報はこちら
<https://machi-neta.com>



メールでのお問合せはこちら
info@machi-neta.com



つくばの風景配信
@prj.machinetaで検索



講座開催のご案内
@085qpyxgで検索
※お気軽にお問合せください



いま話題の
“自己肯定感”を高める
ものづくり教室

街ネタ!
ものづくり教室

自己肯定感を 高める3つの 理由

“自分でできた”本物の自信がつく

本格的な工具や設備を使い、材料から自作します。

始めは本当にこれが自分に作れるの？と思うかもしれませんが、それでも完成が近づくころには、子どもたちは初めて見た専門工具を使い、どんどん自分で加工しています。

手でモノを触り感覚を確かめるから、“できた”感動は格別です。

家族のつながりが一層深まる

ワークショップでは、家族がひとつの作品に向き合います。

力の要る加工や精密な組み立ても、家族の力で乗り越えます。ひとりではできないから、みなさん声を掛け合うことに。

家族を支え、支えられたと感じたとき、安心と愛情がぐんと深まります。

“スゴイ!”と言われ世界が広がる

「作る体験」と「使う体験」の二部構成で、丸一日かけて開催します。

自分で“ものづくり”ができる人は少ないので、既製品だらけの愛好家の間でヒーローになれる。楽しみ方が分かるので、作品を通じて自分の世界が一気に広がります。

「使う体験」は開催地の近所やちょっと興味のある方、以前体験した方も参加します。

街ネタものづくり教室とは

事業内容

つくば周辺各所の里山を舞台にものづくり教室を主催する、社会事業の非営利団体です。

テーマごとのものづくりサポーターを企画、集客、運営でご支援しています。

ミッション

「これからのものづくりのある暮らし」

産業化のため工場に集約されるまで、ものづくりは人類が生まれてからずっと暮らしの一部でした。

モノ余りの時代。身の回りの誰かを幸せにする“ものづくり”をもう一度、人の手に取り戻します。

実績紹介

廃校の望遠鏡復活プロジェクト

つくば市筑波地区の廃校に残された大型天体望遠鏡を復活させたい。そう願う天文サポーターたちと望遠鏡を自作し星空観察をする集いを開催しました。

あいにくの空にも拘らず、雲間の星に歓声があがりました。

2019年10月27日 古民家 華の幹(小田)にて

